

令和4年度 八条中学校 学校運営方針

～学校教育目標～

「自律・貢献・志」

～ 学ぶことが楽しいと実感できる学校 ～

【目指す生徒像】

- ・自分を律し、志をもって努力し続けることができる生徒
- ・他者を思いやり、より良い社会づくりにはたらきかける生徒
- ・仲間と学び合うことを通して、主体的に学び考える生徒

【子どもたちにつけたい力】

- ・粘り強く挑戦する力
- ・主体的に学び合う力
- ・感情をコントロールする力
- ・折り合いをつける力

【目指す教職員像】

- ・自らの健康の保持増進がすべての教育活動の充実に欠かせないことを意識できる教職員
- ・教育目標を理解し、チームの一員として行動できる教職員
- ・教職員同士が学び、高め合い、風通しの良い職場づくりを意識できる教職員

《重点的な取組》

1 子どもの命を守りきる

- (1) 新型コロナウィルス感染症のような経験したことのない新たな感染症に対しては、これまでの制度や慣習が通用しない。そのため、教職員が最新の知見をもとに感染症を正しく理解し、さまざまな教育活動について組織的・計画的に指導する。
- (2) 貧困やヤングケアラーなど福祉的な観点の支援が必要な子どもに対して、その背景をしっかりと理解し、子どもが社会的に自立できるよう対応する。

2 自ら学ぶ力の育成

- (1) 「SDGs」の理念を踏まえながら、すべての生徒が主体的に学ぶ授業づくりを推進する。
 - ・関わり合い、学び合う環境づくり
 - ・「分からぬ」が言える環境づくり
 - ・質の高い課題づくり
- (2) 「校内授業研修」の充実を図ることで授業力向上に努めるとともに同僚性を高める。
- (3) 与えられた課題に取り組むだけでなく、自主学習ノート等を活用して自学自習の習慣化を図る。

- 3 一人一人の生徒を徹底的に大切し、自他を大切にする態度の育成
- (1) あいさつの励行、学習規律の徹底を図り集団の一員として協力できる態度を育成する。
 - (2) 「一人ひとりかけがえのない八中生」という意識で寄り添い、互いに認め合い励まし合う集団作りに取り組む。
 - (3) 「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を組織的に行う。
- 4 豊かな心の育成
- (1) 社会の一員として必要な公共心や公徳心、生命を尊重する心を育てる。
 - (2) 自律の精神を身につけ強い意志や感情をコントロールする力を育成する。
 - (3) 互いの良さや可能性を發揮するため、異なる意見や考えをもとに、さまざまな解決の方法を模索し、折り合いをつける力を高める。
- 5 「困り」を抱える子どもに対する支援
- (1) LGBTQ の悩みや困りに対する適切な支援にあたっては、教職員が正しい知識を持ち、校内委員会を中心とした全校的な組織体制の中で推進する。
 - (2) 不登校に関して、未然防止に向けて「児童生徒理解・教育支援シート」をはじめ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用など初期の段階で適切に対応する。
 - (3) 発達に遅れがある、または発達に心配のある子どもについて、育成学級や通級指導など多様な学びの場を活用し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援を推進する。
- 6 GIGA スクール構想の取組
- (1) 「情報活用能力」を育てるために子どもの発達段階に応じて ICT 機器を活用する。
 - (2) これまでの教育実践と ICT 活用を適切に組み合わせることで、協働的な学びと個別最適な学びを実現させる。
- 7 働き方改革に向けた取組
- (1) 教職員一人一人が自らの働き方や資質・指導力向上に向けた意識改革をすすめる
 - (2) 行事の精選や会議の効率化、部活動の適切な休養日・練習時間の設定など日々の業務を見直し、持続可能な指導・運営体制を構築する。
- 8 地域を意識した取組
- (1) ふれあい手作りカレンダー
文化祭での展示作品である「地域の貼り絵」をカレンダーにし、地域の高齢者（70才以上）に配布する。本校が永年、取り組んでいる行事。
 - (2) その他の取組
松尾祭への参加
南区一斎清掃
西寺育成苑まつり
認知症サポーター（2年生取組）
ふれあいトーク（1年生取組）
福祉体験（車いすダンスの取組）